

私が分校に赴任したときのこと  
は、今でも鮮明に覚えています。「分  
校で教師をやってみよう」という  
自分の夢が実現した喜び。見知らぬ  
東白川の地でやっていけるのかとい  
う心細さ。分校を一人で支えなけれ  
ばならないという重圧。初めて一年  
生を担任する戸惑い。期待と不安が交  
錯した気持ちを抱えての赴任でした。

しかし、分校での生活が始まると、  
そんな気持ちを感じている時間はあ  
りませんでした。毎日、毎時間が手  
探り状態で、無我夢中の日々は、瞬  
く間に過ぎていきました。また、二  
人の子供たちは、何とか私を助けよ  
うと、小さな体でがんばってくれま  
した。その姿を見てみると、わが子  
のようにいとおしく思え、心が和み  
ました。さらに、地域の方々に温か  
く迎えられ、様々な援助をしていた  
だきました。特に、保護者の方々と  
は、家族ぐるみのお付き合いでした。  
「何食べてんだか。栄養つけてが  
んばって」と、夕食をこちそうになる  
こともありました。数多くの心温ま  
る交流に、私もいつしか、地域の一員  
として、分校の教員として生きるこ  
とに、喜びを感じ始めていました。  
あれから、早いもので、三年の月  
日が過ぎようとしています。今年度  
は、児童数が五名となり、教員も二  
人体制となりました。心待ちしてい  
た相談相手もでき、とても充実した

日々を送っています。しかし、この  
分校を取り巻く状況も、時代の波に  
あらわれて厳しくなってきました。  
分校の未来を思うと、心が痛み、真  
剣に考え込んでしまいます。豊かな  
自然に抱かれ、地域の人々に見守ら  
れ、男子も女子も、幼い子も小學生  
も一緒になって地域を駆け回る。失  
われたつある遊び集団が、ここには  
残っているのですが…。

最後に、私が印象深い一コマを。  
地域の子供たちが分校に集い、車座  
になって楽しそうに話す姿を、私は

## 二十八年ぶりの同級会

橋本寿子



教室の窓から、幸せな心地で見  
ました。真つ赤な夕日が子供たちを  
照らし、その笑顔は輝いていました。  
いつまでも、その光景をながめてい  
たかった…。「心健やかに、たくま  
しく育て」夕暮れ迫り、一番星がきら  
めく中、帰りゆく子供たちの背中に、  
私はそつと願いました。

教室の窓から、幸せな心地で見  
ました。真つ赤な夕日が子供たちを  
照らし、その笑顔は輝いていました。  
いつまでも、その光景をながめてい  
たかった…。「心健やかに、たくま  
しく育て」夕暮れ迫り、一番星がきら  
めく中、帰りゆく子供たちの背中に、  
私はそつと願いました。

私の卒業した小野中学校は、いわ  
き市と郡山市の中間に位置する小野  
町にあり、前身は小野新町中学校で  
した。昭和四十一年に小野新町中、  
飯豊中、夏井中の三校が統合、小野  
中学校として歩み出しましたが、第  
一回生は、名称のみの卒業生となり  
ました。その年の四月、一、二年生  
は旧校舎に残り、私たち三年生だけ  
が、新校舎へ移り、三種別々の制服  
に身を包み、肩を並べて学んだ私

ちが事実上の小野中一回卒業生と皆  
思っています。一組から五組が二階、  
六組から十組が三階、計十組、まだ  
プールや体育館もありませんでした  
ので、朝礼や集会は屋上や校庭で行  
われ、夏の暑い日射し、コンクリー  
トの照り返しに、貧血を起こし、倒  
れる生徒も出るといった現状でし  
た。しかし、不便な中にも、友達が  
次第に増え、考え方などに大きな影  
響を受けた時期でもありました。整

今度二十八年ぶりの同級会開催を  
という地元有志に賛同、十一月二十  
八日に向け、半年前から準備を進め、  
北は北海道から南は九州、海外まで  
散らばった友の消息を調べ、四百二  
十五名の同級生と恩師への通知、当  
日は、恩師五名、同級生百十五名の  
参加があり、無事開催する事ができ  
ました。卒業以来初めて会う友、受  
付もそこそこ懐かしい顔、声に手  
を取り合い頬を紅潮させ話し合う  
姿、中学時代の面影を残しながら、  
(中には以前の顔を思い出す事が不  
可能な程変貌を遂げた方もいました  
が…)時折、白髪の混じった頭や、  
目尻に皺の入った顔、もう四十を過  
ぎた大人の顔が、恩師の前では、ま  
るで、中学生の様なあどけない照れ  
笑いをしていました。先生方も、現  
職で活躍されており、話の中から、  
当時のユニークな楽しい授業が思い  
出され、夢に胸を膨らませていた友  
の顔が浮かびました。  
私の勤務する園舎は、旧中学校跡  
地に建ち、昔の校庭の木立ちがいく  
つか残っており、園児たちの遊ぶ姿